

Cisco Unified Contact Center Express 8.0 へのプロンプトのアップロードおよび保存を実行できない

目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[問題](#)

[解決策](#)

[問題](#)

[解決策](#)

[関連情報](#)

[はじめに](#)

Cisco Unified Contact Center Express (UCCX) では 8.0、プレイバックになくプロンプト、また .wav ファイルを保存できません。このドキュメントでは、この問題のトラブルシューティング方法について説明します。

[前提条件](#)

[要件](#)

このドキュメントに関しては個別の要件はありません。

[使用するコンポーネント](#)

この資料に記載されている情報は Cisco Unified Contact Center Express 8.0 に基づいています。

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 (デフォルト) 設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

[表記法](#)

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

問題

UCCX 8 にスクリプトを置くことを試みるときこの機能ははたきません。プレイバックになくプロンプト、また .wav ファイルを保存できません。

解決策

UCCX 8 では、プロンプトをアップロードする方法は UCCX 7.と異なっています。それは wfavvid のプロンプトを表示できる Windows バージョンとは違ってです。バージョン 8 では、それらは保存されるリポジトリにアップロードされます。

Cisco AutoAttendant は Cisco Unified CCX エンジンで保存される歓迎されたプロンプトしか使用できません。カスタマイズされた歓迎されたプロンプトを使用するために Automated Attendant を設定するためにサーバにそれをアップロードし、Cisco 適切な AutoAttendant 例を設定して下さい。

UCCX 8.にスクリプトを置くためにこれらのステップを完了して下さい。

1. Cisco Unified CCX 管理を開始するために Webブラウザの <http://servername/AppAdmin> を開いて下さい。
2. Cisco Unified CCX 管理メイン メニューから、> **プロンプト 管理**を『Applications』を選択して下さい。注: 敏速な管理ウィンドウは表示されます。
3. 言語ディレクトリ ドロップダウン メニューから、プロンプトがアップロードする必要がある特定の言語をおよびディレクトリを選択して下さい。
4. 新しいプロンプトを追加するためにこれらのステップを完了して下さい: **追加を新しく敏速なハイパーリンク** クリックして下さい。注: 敏速なファイル名ダイアログ ボックス ディスプレイ。File ダイアログボックスを選択するために『Browse』 をクリックして下さい。出典 .wav ファイル フォルダーにナビゲートし、Cisco Unified CCX エンジンにアップロードしたいと思う .wav ファイルをダブルクリックして下さい。宛先ネーム フィールドの選択を確認するために Name フィールドでクリックして下さい。 .wav ファイルをアップロードするために、.wav ファイルをアップロードするために『Upload』 をクリックして下さい。注: システムはアップロードが正常だったことメッセージを表示します。 **敏速な管理** ハイパーリンクへの**戻り**をクリックして下さい。敏速な管理ウィンドウのウィンドウ更新およびファイル ディスプレイ。

問題

dates.xml ファイルを読むように試みる間、このエラー メッセージが現れます:

```
%MIVR-SECURITY_MGR-2-EXCEPTION:java.security.AccessControlException: java.io.FilePermission dates.xml
```

または

currentstate.xml に書くように試みる間、このエラー メッセージが現れます:

```
%MIVR-SECURITY_MGR-2-EXCEPTION:java.security.AccessControlException: java.io.FilePermission currentstate.xml
```

解決策

資料 リポジトリにアップロードされる XML 資料にアクセスする間、CreateFileDocument は必要ではありません。読まれるべき XML 資料を参照するために CreateXMLDocument (DOCS [test.xml]) 単に使用して下さい。リポジトリにアップロードされないファイルにアクセスすれば、ファイルがスクリプトで最初にアップロードされ、次に参照する必要があることが推奨されます。詳細については Cisco バグ ID CSCti89552 ([registeredcustomers だけ](#)) を参照して下さい。

関連情報

- [UCCX 8.0 : アプリケーションが作成または更新されたときにエラーが発生する](#)
- [UCCX : エージェント デスクトップにログインできない](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント - Cisco Systems](#)